

福島県における県産米の安全・安心確保への取組

- 作付制限、吸収抑制対策及び収穫後の検査を組み合わせることにより安全確保を図る。
- 除染やカリ施肥による吸収抑制対策を実施。
- 福島県では、平成24年産米以降、県全体で全量全袋検査を実施。平成27年産米以降は基準値※超過はない。
- 県が、令和2年産米からモニタリング(抽出)検査に移行する等の方針を決定。

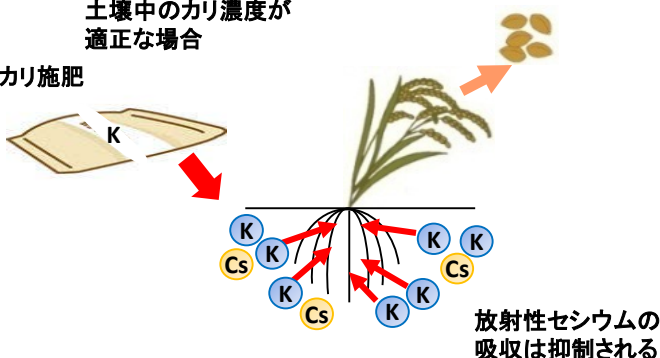
米の全袋検査



カリ施肥による稲の吸収抑制対策

土壌中のカリ濃度が
適正な場合

カリ施肥



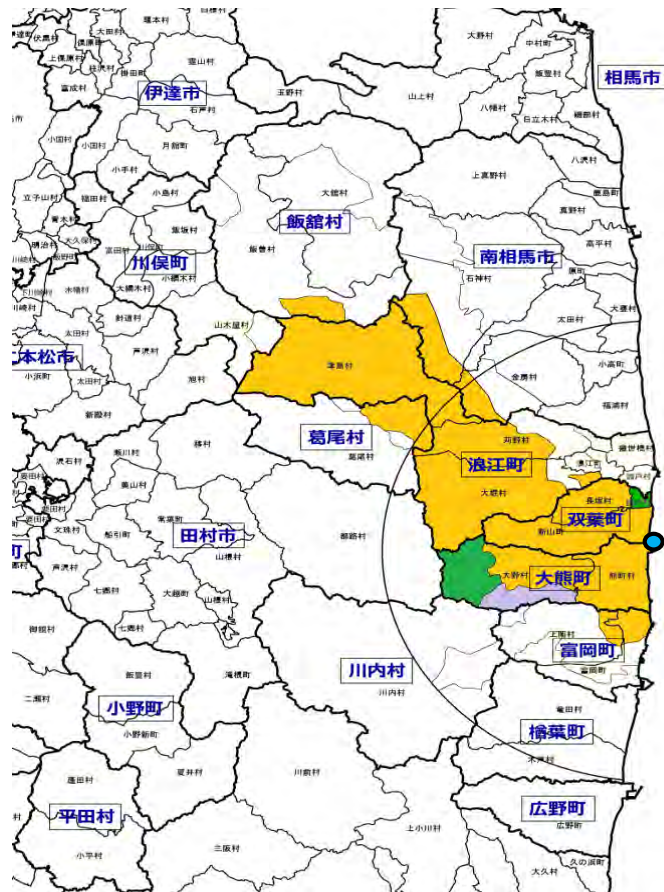
年度	検査点数	基準超過 点数※	基準値超過 割合(%)※
平成25年度	11,006,552	28	0.0003
平成26年度	11,014,971	2	0.00002
平成27年度	10,498,720	0	0
平成28年度	10,266,012	0	0
平成29年度	9,976,698	0	0
平成30年度	9,251,056	0	0
平成元年産	9,472,227	0	0

(出典) ふくしまの恵み安全対策協議会 令和2年6月30日現在

※ 食品衛生法に基づき、100Bq/kgを基準値としている。

令和2年産米の作付制限等の対象地域(令和元年産との比較)

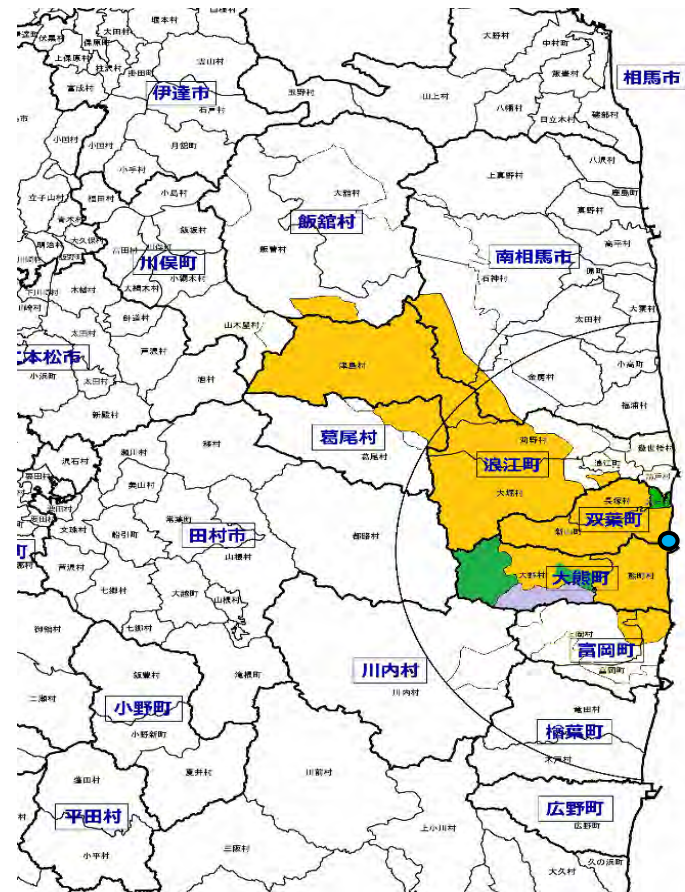
令和元年産米



福島県



令和2年産米



- **作付制限**
作付・営農は不可。
- **農地保全・試験栽培**
除染後農地の保全管理や市町村の管理の下で試験栽培を実施。
- **作付再開準備**
管理計画を策定し、作付再開に向けた実証栽培等を実施。
- **全量生産出荷管理**
管理計画を策定し、全てのほ場で吸収抑制対策を実施、もれなく検査(全量管理・全袋検査)し、順次出荷。